

平成20年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	3
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	5
2. 明るく元気な社会づくり	6
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	8
2. 福祉の充実	8
3. 健康わかやまの実現	9
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育むわかやま	
1. 商工業の振興	10
2. 農業・水産業の振興	12
3. 林業の振興	15
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	16
2. 誇れる郷土づくり	17
3. 環境・自然の保全	18
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	19
2. 暮らしの安全・安心	19
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	20
2. IT基盤整備と利活用推進	21
3. 快適な暮らしの実現	21
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	22

I 県民と親しみ、県外へ進出した活動実績

	就任1年目 (H18.12.19~H19.11.30)		就任2年目 (H19.12.1~H20.11.30)	
○県内から県庁を訪問して下さったお客様	223	グループ	206	グループ
○県外から県庁を訪問して下さったお客様	112	グループ	81	グループ
・国機関関係	35	グループ	24	グループ
・外国関係	18	グループ	7	グループ
○式典・大会出席挨拶	227	回	274	回
○講演・シンポジウム	20	回	18	回
○県内各地への出張回数	79	回	103	回
○県外各地への出張回数	66	回	78	回
・東京	24	回	32	回
・大阪	31	回	28	回
・他府県(東京、大阪を除く)	10	回	17	回
・外国	1	回(中国)	1	回(スペイン)
○公用車の走行距離	23,889	Km	23,104	Km
○県内各界要人との懇談	24	回	33	回
○県内企業訪問	15	回	27	回
○国の要人との政策議論・要望	32	項目	51	項目
	75	回	66	回
○企業首脳トップセールス	41	回	60	回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○ 公共調達制度改革

- ・ 新公共調達制度推進委員会の設置(5月)

- ・ 建設工事・建設工事に係る委託業務の条件付き一般競争入札の全面導入などの新公共調達制度を実施(6月)

- ・ 新公共調達制度の見直しを実施(12月中旬公告分から)
 - ①最低制限価格の適用範囲の拡大
 - ②低入札調査の厳格化
 - ③大規模工事・委託業務の予定価格の事後公表
 - ④民間工事实績の認定

- ・ 役務の提供等の契約(建設工事等に係るものを除く。)に条件付き一般競争入札を全面導入(平成21年1月)

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

- 和歌山県長期総合計画を策定(3月)し、計画を広く県民にPRするための活動を展開
 - ・ リレーシンポジウムを開催(県内5箇所)(5月)
 - ・ 知事特別講演(5月 向陽中・高等学校、7月 近畿大学附属和歌山高等学校・中学校)

- 「新行財政改革推進プラン～持続可能な県政へ～」を策定(3月)

- 県民とのコミュニケーションの強化
 - ・ こども版「出張！県政おはなし講座」を開設(10分野、75講座)(8月)
 - ・ 和歌山県ホームページ「和歌山県情報館」をリニューアル(8月)
 - ・ 和歌山県インターネット放送局を開局(8月)
 - ・ 「メルマガわかやま」の配信を開始(9月)

- 県庁組織改革・人事異動(4月)
 - ・ 知事部局で100人の定数削減を実施
 - ・ 企画部を改編(地域振興の取り組みを重点化)
 - ・ 商工観光労働部を改編(商工支援・就労支援の一体的推進、新事業・新産業育成等と企業誘致の連携強化)
 - ・ 工事検査業務を各振興局から本庁に集約するなど入札制度改革を確実に執行できる体制に改編
 - ・ 農水産物・加工食品の販売促進体制を充実・強化
 - ・ 特命担当を配置し、特定課題への対応を強化
 - ・ 振興局の機能強化
 - ・ 従来のような事務分掌の範囲にとらわれず、「任務」を意識した行動を促すよう任務型組織に変更
 - ・ 若手職員16名を中央省庁等に派遣
 - ・ 県産品の販路拡大などのノウハウを学ばせるため、宮崎県に若手職員を派遣
 - ・ 三井物産に新たに職員を派遣
 - ・ 県内町村との人事交流を実施

- 県職員採用Ⅰ種(大学卒業程度)試験に特別枠採用を実施(平成21年度～)
文化・学術、社会貢献、スポーツ等の分野において、優れた実績・成果を収め、その過程において培われた意欲・行動力・精神力等を和歌山県のために活かしたいという人材を確保するため

- ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)スタート(5月)

- 「市町村への分権に関する計画(仮称)」のとりまとめに着手(10月)

IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

○「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開始(4月)

第1回(4月)	奥本 大三郎(埼玉大学教養学部教授)	串本町
第2回(6月)	本田 悦朗(外務省欧州局審議官)	和歌山市
第3回(7月)	竹中 平蔵(慶應義塾大学教授)	田辺市
第4回(8月)	請川 孝治(県工業技術センター所長)	和歌山市
第5回(10月)	湯元 健一(北京五輪レスリング銅メダリスト)	和歌山市
第6回(11月)	請川 孝治(県工業技術センター所長)	和歌山市
第7回(12月)	島 正博(島精機製作所代表取締役社長)	橋本市

○「市民性教育」を推進(4月)

○ 不登校及びいじめ等の問題行動に対応するハイスクール・サポート・カウンセラー等を県立学校31校に派遣(4月)

○ 県内全ての公立中学校で5日間程度の職場体験を実施するための補助制度を創設

○ 家庭で不要になった本を小中学校等に寄贈してもらう「リサイクル図書寄贈ボランティア活動」を開始(9月)

○ 第2回きのくにロボットフェスティバル2008を御坊市で開催(12月)

2. 明るく元気な社会づくり

① 文化芸術の振興

- 県立美術館・博物館名誉館長に平山郁夫さんが就任(4月)

- 県立図書館開館100周年記念事業を展開(7月～)

- 「Songbridge in Wakayama(国際青少年合唱祭)」を共催(8月)

- 「和歌山県文化表彰・名匠表彰アート・アワード2008」を開催(11月)

② スポーツの振興

- 第70回国民体育大会(平成27年)開催準備
 - ・ 競技力向上対策本部設立(3月)
 - ・ 県内22市町村の開催競技を選定(9月)

- 和歌山セーリングセンターがナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に(5月)

- 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト
 - 第1期、第2期のゴールデンキッズに対し各育成プログラムを実施するとともに、第3期生発掘のための体力測定会を開催

- 小学校の運動場の芝生化を促進(8校に補助)

③ 国際交流の推進

- トルコ共和国大統領が初めて串本町を訪問し「エルトゥールル号追悼記念式典」に参列(6月)
- 国際環境協力のため、環境技術者を中国山東省へ派遣(10月)

④ 人権尊重社会の実現

- 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結団体 26団体 計100団体
- 岡山県内のハンセン病療養所を訪問(8月)

V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

1. 少子化対策の充実

- 第3子以降で保育所に入所している3歳未満児の保育料を無料化する市町村に対する補助制度を創設
- 保育所で集団保育ができない病氣中や回復期にある児童を、医療機関等において一時的に預かる事業に対する補助を実施

2. 福祉の充実

- 障害者就労支援5か年計画を策定(2月)
- 障害者を対象とした職員採用を実施(平成21年4月採用から)
- 和歌山県成年後見支援センターを県社会福祉協議会に設置(10月)
- 高次脳機能障害支援拠点を設置(11月)
- 和歌山県子どもを虐待から守る条例施行(8月)

3. 健康わかやまの実現

○ 医療従事者確保対策

- ・ 県立医科大学の入学枠を拡大(入学定員25名増 60名→85名)(20年度)
* 21年度からはさらに10名増し、95名に
- ・ 従来の不足診療科を目指す医学生等に対する修学資金に加えて、県立医科大学「地域医療枠(5名)」入学生に対する修学資金を新設
- ・ 平成19年9月から6ヶ月間の予定で国から新宮市立医療センターに派遣されていた産婦人科医師1名が、派遣期間終了後も引き続き勤務することが決定(2月)

○ 子ども救急相談ダイヤル事業を毎日実施に拡大(4月)

○ 脳脊髄液減少症の診療が可能な県内の医療機関を公表(7月)

○ 第2次和歌山県健康増進計画を策定(3月)

○ がん対策の推進

- ・ 和歌山県がん対策推進計画を策定(3月)
- ・ 市町村の集団検診終了後の休日に胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんの4検診をセットで実施する市町村への助成制度を創設
- ・ 緩和ケア提供体制を充実するため、がん診療に従事する医師等に対して研修を実施
- ・ 「和歌山県未成年者喫煙防止条例」施行(4月)

○ こころの健康相談統一ダイヤルを開始(9月)

○ 県立医科大学が、那智勝浦町立温泉病院内に「スポーツ・温泉医学研究所」を開設(7月)

VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

1. 商工業の振興

○ 企業立地の促進

- ・ 平成20年1月以降新たに25社の企業立地が決定(詳細別紙)
- ・ 企業立地促進計画を策定
 - 「紀ノ川流域地域基本計画」(2月)
 - 「紀中・紀南地域基本計画」(9月)
- ・ 紀北橋本エコヒルズの橋本隅田地区用地の造成がほぼ完成、3区画について売買が完了

○ 和歌山県100年企業表彰(37企業)(3月)

○ 和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度を制定(4月)

第1回認定 製造物分野 142件 生鮮物分野 35件 観光資産 4件(12月)

○ 見本市等に出展

- ・ 第78回東京レザーフェアに出展(6月)
- ・ わかやま産品商談会in和歌山開催(9月)
- ・ 中国国際工業博覧会に出展(11月)

○ 地域再生中小企業創業助成金の地域再生分野として食料品製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業を選定(4月)、情報サービス業、飲食店、その他の生活関連サービス業(旅行業等)を追加(12月)

○ 中小企業向け県融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・ 資金繰り安定資金について、緊急対策枠の新設(11月)
- ・ 経営支援資金について、運転資金の融資限度額を拡大するとともにセーフティ枠の融資期間を延長(11月)

- 地域経済の活性化に向けて、民と官との相互連携による最大効果を実現するため、紀陽銀行との包括的連携協定を締結(2月)

- 和歌山県知的財産戦略を策定(9月)

- 県工業技術センター内に、主導的に「食品加工」分野に取り組む「食品開発室」を設置(4月)

2. 農業・水産業の振興

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2008」を策定(5月)

- 第2回わかやま産品商談会in大阪を開催(2月)
県内サプライヤー99社と購買事業所147社をマッチング

- FOODEX JAPANに和歌山ブースを出展(3月)

- 県産物のトップセールスを実施
 - ・ 梅(東京・大田市場)(6月)
 - ・ 養殖鮎(東京・築地市場)(7月)
 - ・ 桃(大阪市中心卸売市場)(7月)
 - ・ 柿(大阪市中心卸売市場)(9月)
 - ・ みかん(東京・大田市場)(11月)
 - ・ 在スペイン日本国大使公邸でトップセールスを実施(9月)

- 海外で和歌山フェアを開催
 - ・ マレーシア(1月、3月)
 - ・ シンガポール(7月、11月)
 - ・ タイ(10月)
 - ・ 香港(10月)
 - ・ アラブ首長国連邦(12月)

- 海外での見本市に出展
 - ・ アジア・フルーツロジスティカ2008(香港)(9月)
 - ・ シアル2008(フランス)(10月)
 - ・ FHC CHINA2008(上海)(12月)

- (株)紀ノ国屋と県産品の販売促進協定を締結(5月)

- 「わかやまみかん船」プロジェクト2008を実施(11月)
 - ・ 売場「みかん船」化を全国のジャスコ200店舗で展開
 - ・ QRコードを活用したみかん情報提供

- 食品メーカーとの協働
 - (株)セブン-イレブン・ジャパンとの協働
 - “紀州南高梅の七穀米御飯と煮物のお弁当”(3月)
 - “和歌山県産鯛のかま焼きと梅あんかけ煮物のお弁当”(10月)
 - サッポロ飲料(株)との協働
 - 和歌山県産うめを使用した“とろり梅”(9月)
 - カルビー(株)との連携
 - 和歌山県産さんしょうを使用した「かっぱえびせん」新発売(12月)

- 県オリジナルイチゴ「まりひめ」を商標・品種登録出願(3月)

- わかやま農産物安心プラス認証制度を創設(7月)
 - 今年度中の予定 10団体25品目

- 消費者と民間事業者が協力して商品開発を行う「わかやま産品パートナーズ」制度がスタート(10月)

- 和歌山の旬のこだわり情報を届ける「まるかじり わかやま ニュースレター」を発行(5月)

- ふるさと和歌山わいわい市場」が初代・関西ウェブサイト大賞に入賞

- 県職員が「和歌山の柿」のPRソングを作詞、作曲

- 「水産業活性化アクションプログラム」を策定(2月)

○ マグロ養殖業が勝浦湾でスタート(3月)

3. 林業の振興

- 「紀州材生産販売プラン」を策定(1月)

- 大消費地への販売促進
 - ・ 優良紀州材祭を東京で開催(3月)
 - ・ 大紀州材祭を東京で開催(10月)
 - ・ ジャパンホームショーに出展(11月)

- 東京大学構内に紀州材をふんだんに使って建築した「東京大学くうかん実験所」が完成(本県のトーキョー・プロモーション推進プロジェクト事業)(11月)

- 日高港が植物防疫法に基づく輸入港として指定され、木材等の輸入が可能に(11月)

- 森林環境保全による地球環境保護を考えるシンポジウムを東京で開催(2月)

- 「企業の森」新規調印企業・団体が15あり、計46に

富士通(株)	田辺市龍神村	2月
NTT西日本和歌山支店	田辺市龍神村	2月
(株)浅川組	紀美野町	2月
わかやま市民生活協同組合	古座川町	2月
NEXCO西日本グループ	田辺市龍神村	3月
岩本電気産業(株)	田辺市龍神村	3月
(有)光明電設	田辺市龍神村	3月
(財)上山遺児育英会	有田川町	9月
田辺・西牟婁電気技術者協会	田辺市中辺路町	9月
済生会和歌山病院	かつらぎ町	10月
上富田町水道協同組合	上富田町	10月
さわかみ合同会社	田辺市	11月
和歌山県信用保証協会	有田川町	11月
和歌山県オールトヨタ	田辺市龍神村	12月
(株)富士住建	田辺市中辺路町	12月

VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2008」を策定(4月)

- 和歌山大学及び(社)和歌山県観光連盟と地域活性化に向けて観光分野での連携を深めるため、相互連携協定を締結(4月)

- 国内の誘客を図る取組
 - ・ 首都圏及び近畿圏からの修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2008体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を大阪、東京で開催(8月)
 - ・ 首都圏誘客イベント「うまいもん食べて感じて!! プレゼン和歌山」をTBS赤坂Sacasで開催(10月)
 - ・ 阪和自動車道周辺地域を対象とした「撮影スポットコンテスト」など阪和自動車道IC周辺地域への誘客促進策を展開
 - ・ 南紀白浜空港アクセスガイドを作成(8月)
 - ・ 松竹映画「パンダフルライフ」とタイアップ(8月)

- 海外からの誘客を図る取組
 - ・ ハナツアー旅行博覧会(韓国・ソウル市)(5月)
 - ・ 香港国際旅游展(ITE2008)(香港)(6月)
 - ・ 「祈りの道サンティアゴ巡礼の道と熊野古道」オープニングセレモニー(フランス・パリ)(9月)
 - ・ スペイントップセールス(スペイン・マドリッド)(9月)
 - ・ 東アジア国際観光博覧会(中国・大連市)(10月)
 - ・ 日仏観光交流年観光振興地域セミナー(フランス・パリ)(10月)
 - ・ 関西DAY IN 中国(中国・武漢市)(10月)
 - ・ 観光客誘致現地プロモーション(台湾・台中市)(11月)
 - ・ 中国国際旅游交易会(上海CITM2008)(中国・上海市)(11月)

2. 誇れる郷土づくり

○ 快適で魅力ある都市づくり

- ・ 「中心市街地再生プロジェクトチーム」で中心市街地の再生を応援していくための研究を行い、「中心市街地再生セミナー」を開催(6月)

○ 愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・ 和歌山県子ども農山漁村交流推進協議会設置(7月)
- ・ 和歌山県過疎対策研究会設置(7月)
- ・ 田舎暮らし応援県わかやま推進会議設置(10月)

○ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用

- ・ 「熊野古道の宿 霧の郷たかはら」オープン(4月)
- ・ 「祈りの道 サンティアゴ巡礼の道と熊野古道」国際共同プロモーションを和歌山、東京、フランス、スペインで実施(9月～)
- ・ 熊野古道中辺路ルート完歩スタンプを整備(36箇所の押印所を設置)(10月)
- ・ 三重県・奈良県・和歌山県の連携で熊野古道「祈りの聖地を歩く」スタンプラリーを実施(10月)

○ 地域の魅力づくり

- ・ 「和歌山県景観条例」施行(4月)
- ・ 東牟婁郡那智勝浦町の「ぶつぶつ川」を2級河川指定し、日本一短い川に(流路延長13.5m)(10月)

○ 「和歌山県ふるさと大使制度」をスタート(10月)

- ・ 第1号として、歌手の坂本冬美さんに委嘱

○ 故郷わかやまを全国に発信した功績者(人に限らない)を表彰する「和歌山県勲功爵」(わかやま で ナイト)制度を創設(10月)

- ・ 第1号として、和歌山電鐵貴志駅のスーパー駅長「三毛猫たま」に授与

3. 環境・自然の保全

- 住宅用太陽光発電設備に都道府県レベルでは全国に先駆けた補助制度を導入（4月）

- 県トラック協会に対し、排出ガス低減装置を装着する経費などを助成

- 「和歌山ノーレジ袋推進協議会」参加事業者が、平成21年1月23日からレジ袋の無料配布を中止する協定を締結（12月）

- 「産業廃棄物の保管及び土砂等の埋立等の不適正処理防止に関する条例」制定（10月）

- 職員が道路パトロールや管内外出した際に、ごみを持ち帰る運動を開始（10月）

- 中東6ヶ国大使が日高港新エネルギーパークを視察（12月）

VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

1. 防災・減災社会の実現

- 和歌山県防災対策推進条例施行(4月)

- 津波から「逃げ切る！」支援対策プログラム策定(4月)

- わかやま透析安心メールを開始(6月)

- 和歌山県災害ボランティアセンターを県社会福祉協議会に設置(10月)

- 紀伊半島沖に存在する地震発生帯「南海トラフ」の研究掘削をしていた地球深部探査船「ちきゅう」の調査報告を行うシンポジウムを開催(2月)

2. 暮らしの安全・安心

- 国民保護共同訓練を実施(県内初の図上訓練)(1月)

- 携帯電話による110番通報の発信位置が地図上に表示できるシステムを新たに導入

- 警官OB等による防犯アドバイザーを配置し、自主防犯組織を支援

Ⅸ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

1. 交通ネットワークの充実

○ 道路網の整備

- ・ 国道42号 湯浅御坊道路の4車線化の都市計画決定にかかる環境影響評価の手續を開始(3月)
- ・ 国道42号 那智勝浦新宮道路開通(3月)
- ・ 国道42号 有田海南道路 新規事業採択(5月)
- ・ 国道480号 鍋谷峠道路 新規事業採択(5月)
- ・ 国道169号 奥瀬道路 完成(7月)

○ 道路財源確保のための活動

- ・ 道路特定財源諸税の暫定税率等の延長を求める要望活動(1月)
- ・ 道路特定財源の暫定税率問題について、県民との対話集会を開催(4回)(2月)
- ・ 道路特定財源関連法案の早期成立を求める和歌山県総決起大会(4月)
- ・ 道路特定財源関連法案の再可決を求める紀伊半島一周道路行進(4月)
- ・ 道路財源の確保を求める要望活動(11月)

○ 関西国際空港の利便性向上のための活動

- ・ 近畿ブロック知事会長として、関西国際空港就航便の確保について要望(7月)
- ・ 関西国際空港の2期事業の継続について要望(8月)
- ・ 近畿ブロック知事会長として、関西国際空港の国際競争力強化について要望(11月)

2. IT基盤整備と利活用推進

○ ブロードバンド基盤整備の推進

- ・ 広川町が実施するケーブルテレビ網整備事業に対して財政支援を決定(6月)

○ 携帯電話不感地域の解消

- ・ 携帯電話各社に携帯電話不感地区解消の協力依頼のトップセールス(4月、7月)
- ・ 田辺市、新宮市、かつらぎ町、広川町、有田川町、日高川町、古座川町における移動通信用鉄塔施設整備等に財政支援
- ・ 20年度中に23地区で通話が可能に

○ 地上デジタル放送への円滑な移行

- ・ 「和歌山県地上デジタル放送難視解消ナビゲーター」を策定(5月)
- ・ 受信対策を検討するための現地調査を実施(6月～8市町47地区で実施)
- ・ 地上デジタル放送移行に関する国や放送事業者の責任による対策の実施を国に要望(11月)

○ マイクロソフト社と教員のICT活用指導力の向上及び中小企業におけるICT利活用の推進に向けた連携事業を行うことを合意(5月)

○ 総務省・厚生労働省共催の「遠隔医療の推進方策に関する懇談会」の構成員として参加(3月～)

3. 快適な暮らしの実現

○ 紀ノ川中流流域下水道(那賀処理区)の処理開始(12月)

○ 良好な水辺環境の再生と創出

- ・ 「和歌山県プレジャーボートの係留保管の適正化に関する条例」施行(4月)
- ・ 和歌山市から有田市までの区域においてプレジャーボートの放置等を規制する区域を指定(12月)(予定)

○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所	操業開始予定	雇用予定	投資額	業務内容	進出協定
1	(株)松源	和歌山市	H19年 6月	34人	2.6億円	低温物流センター	H19年 2月
2	亀宝倉庫(株)	和歌山市	H19年 6月	5人	0.7億円	倉庫業	無(西浜)
3	エアウォーター(株)	和歌山市	H19年 8月			工業ガスの製造	無
4	原田織物(株)	橋本市	H19年 9月	20人	3.7億円	織物業	H19年 8月
5	(株)タカショー	海南市	H19年10月	40人	7億円	環境エクステリア・庭園資材の製造	H19年 6月
6	日本石油鋼管(株)	和歌山市	H19年11月	20人	8億円	石油掘削用の鋼管製造	H19年 2月
7	アトラック(株)	橋本市	H19年11月	5人	3億円	粘着加工・ドライミネット加工	H19年 3月
8	恵和(株)	印南町	H19年11月	30人	13億円	光拡散シートの製造	H19年 5月
9	(株)NMソルト	和歌山市	H20年前半	2人	1億円	塩の加工	無(西浜)
10	南海化学(株)	和歌山市	H20年 1月			基礎化学品の製造	無
11	劑盛堂薬品(株)	和歌山市	H20年 1月			漢方薬の製造	無
12	ミナベ化工(株)	みなべ町	H20年 1月			活性炭の製造	無
13	(株)NTN	上富田町	H20年 1月	25人	20億円	ベアリング部品の製造	H18年 7月
14	(株)スミロン	日高川町	H20年 3月	16人	18億円	工業用保護粘着テープの製造	H19年 9月
15	松下電池工業(株)	紀の川市	H20年 5月	150人	45億円(建物)	リチウムイオン電池の製造	無
16	アイコム(株)	紀の川市	H20年 7月	160人	20億円	無線通信機器製造	H18年 7月
17	本州化学(株)	和歌山市	H20年 7月			化学品の製造	無
18	辻岡運輸(株)	和歌山市	H20年夏	5人	1億円	運輸業	無(西浜)
19	(株)オークワ	和歌山市	H20年 9月	30人	24億円	食品加工	H19年10月
20	住友金属工業(株)	和歌山市	H21年 6月		1,600億円	普通鋼粗鋼の製造(第一期)	無
		和歌山市	H24年下期		900億円	普通鋼粗鋼の製造(第二期)	無
21	和興建産(株)	和歌山市				建具の製造	無
22	太陽食品(株)	和歌山市				パン菓子製造	無
23	極東化成工業(株)	岩出市				食品添加物の製造	無
24	尾高ゴム工業(株)	紀の川市				ゴム製品製造	無
25	関戸運輸(株)	和歌山市				運送業	無
26	ビーウィズ(株)	和歌山市	H20年 7月	500人	1億円	カスタマーセンター	H20年 1月
27	(株)ユアブレインズ	和歌山市	H20年 1月	15人	500万円	ソフトウェア開発	H19年12月
28	アドバン工業(株)	和歌山市				精密部品加工、自動化機器の設計・製作	無
29	(有)久保田エンジニア	紀の川市				プラスチック成型、加工業	無
30	(株)ホタニ	紀の川市				製鉄用、非鉄金属用ブラシロール	無
31	大輪産業(株)	橋本市	H21年 6月	15人	1.75億円	ネジ、ナット製造	H20年 1月
32	恵和(株)	御坊市	H20年11月	35人	22億円	液晶用工学シート製造	H20年 2月
33	(株)アルバック	橋本市	H21年 2月	60人	16.5億円	真空装置部品の再生・精密洗浄	H20年 2月
34	(株)エスアールアイ	海南市	H20年 5月	20人	300万円	ソフトウェア開発	H20年 4月
35	日本石油鋼管(株)	和歌山市	H20年10月	10人	5億円	石油掘削用鋼管部品の製造	H20年 4月
36	東京製綱(株)	和歌山市	H20年 5月	30人	5億円	ソーワイヤ製造	H20年 4月
37	セイカ(株)	和歌山市	H22年 4月	40人	50億円	化学製品製造	H20年 4月
38	(株)マルテン天満屋	日高川町	H21年 4月	48人	1億円	女性用下着製造	H20年 6月
39	(株)コズミックランド	白浜町	H20年10月	10人	1.5億円	グラフィックデザイン、新商品開発研究所等	H20年 6月
40	大阪富士工業(株)	和歌山市	H21年 4月	15人	2億円	ロール等金属製品製造・補修	H20年 7月
41	笠野興産(株)	和歌山市	H20年12月	18人	6.8億円	医薬品の物流・配送、医薬品の製造	H20年 5月
42	(有)コバタ総合研究所	橋本市	H21年 3月	16人	2.5億円	健康食品等製造・販売	H20年 8月
43	大塔金属工業(株)	田辺市	H21年 3月	16人	3.6億円	自動車部品(ねじ類)の製造	H20年 9月
44	朝日オリコミ和歌山	和歌山市	H21年 4月			新聞折り込み	無(西浜)
45	(株)中井鉄工所	橋本市	H21年10月	5人	1.4億円	製缶加工、コンベア・洗浄機製作	無
46	(株)しんこう技研	紀の川市	H21年 3月	19人	3.7億円	板金加工業	H20年10月
47	旭精機(株)	橋本市	H22年 1月	14人	2.2億円	精密金型部品、機械部品の製造	H20年11月
48	(株)NMソルト	和歌山市				塩の加工、保管	無
49	木本産業(株)	有田市	H21年 7月	20人	1.1億円	石油備蓄タンクの製造・加工	H20年12月